



高松空港に米軍のヘリコプター3機が緊急着陸（16日）した問題で、「郷土がわを戦場にするな！」県民連絡会と、明るい民主県政をきずく香川県連絡会は

23日、県に対し、緊急着陸の真相究明を申し入れました。その後、県庁前で報告集会を開き、約30人が参加しました。

16日午後2時半頃、高松空港に緊急着陸し、約2時間後に離陸しました。

2団体は、△米軍ヘリの飛行目的やルート、所属を明らかにし、緊急着陸の原因を明確にする。△高松空港の特定利用空港の指定を拒否し、高松港とともに軍用化を許さない意思を明確にすることなどを要請しました。

県に真相究明など要請



日本共産党の東部地区委員会は21日、岡田まなみ市議による高松市政報告会を同市で開き、約30人が参加しました。

藤沢やよい市議と田辺健一東部地区委員長があいさつしました。

岡田まなみ高松市議が市政報告会

は、池田豊人知事が中心に開かれた。その後、県庁前で報告集会を開き、約30人が参加しました。

米軍ヘリコプター3機は、約2時間後に離陸しました。

2団体は、△米軍ヘリの飛行目的やルート、所属を明らかにし、緊急着陸の原因を明確にする。△高

全日本年金者組合香川県本部は県下各支部と2カ月ごとの年金支給日の集会や宣伝を実施しました。30分で31筆の署名が寄せられました。



県本部の田中金春会長は「自公政権が衆参で少數与党になった。運動をひろげ年金を引き上げる絶好のチャンスだ」とあいさつしました。

亀山正昭さん（88）は「物価が上がり生活は大変で年金制度は変わらないのに、武器をアメリカから爆買するような大軍拡を止めて、医療費や物価はどんどん上がる」と述べました。

通りがかった人は「医療費や物価はどんどん上がる」と述べました。

10月26日付 民主香川第2040号の訂正

- 1面「太鼓台」の文中「夢に向かっていきながら」は「（もが）きながら」、19行目「消化」は「昇華」が正しい
- 2面「ストップ・温暖化③」は④が正しい
- 同QRコードの絵解きは「レポート3030」は「レポート2030」が正しい
- 4面「猫のしっぽ」上段12行目「ゴビ沙漠」は「砂漠」に



「新自由主義」の時代と「社会保障」①

前回まで、「政策」としての「社会保障」が20世紀に成立し、それが「権利」としての「社会保障」へと発展していく過程を振り返りました。中でも重要なのは、働く者の要求と運動、そして、第2次世界大戦で民主主義がファシズムに勝利したことなどを背景として、「生存権」をその基本とする「社会権」の概念が成立したことでした。ところが、1970年代に台頭し、1980年代にその政治的影響力を強めた「新自由主義」の経済思想はそれらを否定する傾向が強く、その流れの中で、日本をはじめとして多くの国が、「社会保障」の縮小、或いは切り捨ての方に向に舵を切りました。

20世紀末から21世紀へと移る時期は、1974年から75年にかけて不況が押し寄せ

ました。植松和弘知事公室長は、池田豊人知事が中四国防衛局の発表内容に加えて県から国に説明を求める予定はないと述べました。要請内容は知事や中国四国防衛局に伝えると述べました。

20日の記者会見の見解を説明。要請内容は知事や中国四国防衛局に伝えると述べました。

報告集会で、県民連絡会の共同代表で日本共産党の櫻昭二県議は「年間210

万人が利用する四国でも最大級の民間空港に米軍機が着陸していいのか。県は国に対し、米軍機の緊急着陸の原因や目的も追及しないことが明らかになつた」と批判しました。



太鼓台

先日、私が作ったペリカンのくちばし（針金や布地を張り付けたもの）が出来ました。国語のことばを理解させる小道具の一つでした。ことばにこだわって授業をしてきたつもりです。「次から次へ」は子どもたちを売り手と買い手に分けて、売り手は紙皿にマグネットを乗せた商品を賣り、みんなのことが、次から次といふことなんだよ」「何もなくなつた」という説明は、初めてにあつたものの絵（たわわに実ったスモモ、戦争に行った兄さん、家族の笑顔、家畜のヤギ、にぎやかな街、行き交う人々）を黒板いっぱいに貼っていて、子どもたちとのやりとりで、「たわわに実ったスモモは?」「ない」「兄さんは?」「帰つてない」というように黒板の絵を外して、黒板だけになつた状態を「何もなくなつた」ということわかる?」しーんとなつてうなづかかました。【5・W】



これから社会保障を考える 高齢化、人口減少そして「大軍拡」の流れの中で 28

社会保障のあり方について考える会 準備会 藤井 明

社会保障の時代と「新自由主義」の時代と

終わりを告げると言う大きな経済的変化が進んだ時代でした。それはまた、1930年

前後の世界大恐慌を経て、ケインズ理論に基づく施策によって一時は持ち直していた資本主義的な経済システムの矛盾と混乱が再び顕在化はじめたという事でもありました。

このたび総理大臣となつた高市氏も2012年、当時は野党だった自民党が「生活保護バッシング」を主導した頃、それに代わるものとして考へ出され、その後の指導的経済学を根拠とする施策を徹底してなお経済がうまく回らなくなつてその有効性が疑問視され始めたことを背景として、それに代わるものとしてのままだと自分たちの優位性だと語ります。それはまた、このままだと自分たちの優位性が脅かされると感じた資本家階級の意識を背景として、資本主義的経済システムの延命を図るために考え出された経済思想と施策の体系でもあります。

18世紀後半から19世紀にかけた不況が押し寄せました。20世紀末から21世紀へと移る時期は、1974年から75年にかけて不況が押し寄せました。このままだと自分たちの優位性が脅かされると感じた資本家階級の意識を背景として、資本主義的経済システムの延命を図るために考え出された経済思想と施策の体系でもあります。

このたび総理大臣となつた高市氏も2012年、当時は野党だった自民党が「生活保護バッシング」を主導した頃、それに代わるものとして考へ出され、その後の指導的経済学を根拠とする施策を徹底してなお経済がうまく回らなくなつてその有効性が疑問視され始めたことを背景として、それに代わるものとしてのままだと自分たちの優位性だと語ります。それはまた、このままだと自分たちの優位性が脅かされると感じた資本家階級の意識を背景として、資本主義的経済システムの延命を図るために考え出された経済思想と施策の体系でもあります。

このたび総理大臣となつた高市氏も2012年、当時は野党だった自民党が「生活保護バッシング」を主導した頃、それに代わるものとして考へ出され、その後の指導的経済学を根拠とする施策を徹底してなお経済がうまく回らなくなつてその有効性が疑問視され始めたことを背景として、それに代わるものとしてのままだと自分たちの優位性だと語ります。それはまた、このままだと自分たちの優位性が脅かされると感じた資本家階級の意識を背景として、資本主義的経済システムの延命を図るために考え出された経済思想と施策の体系でもあります。

このたび総理大臣となつた高市氏も2012年、当時は野党だった自民党が「生活保護バッシング」を主導した頃、それに代わるものとして考へ出され、その後の指導的経済学を根拠とする施策を徹底してなお経済がうまく回らなくなつてその有効性が疑問視され始めたことを背景として、それに代わるものとしてのままだと自分たちの優位性だと語ります。それはまた、このままだと自分たちの優位性が脅かされると感じた資本家階級の意識を背景として、資本主義的経済システムの延命を図るために考え出された経済思想と施策の体系でもあります。